

平成 28 年度 事業計画書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

社会福祉法人 宰府福社会

I. はじめに

平成 28 年度においては、社会福祉法人制度改革の対応として①経営組織のガバナンス ②事業運営の透明性 ③財務規律の強化 ④地域貢献事業 に取り組んでいかなければならないと考えています。社会福祉法人は社会から期待される役割を果たすため、積極的な取り組みを進めていくことが必要です。なかでも、法人経営の透明性の向上として、財務諸表や現況報告書などを開示し社会福祉法人への理解を浸透させていくことが求められています。

これらのことを踏まえて当法人では、平成 27 年度より中期経営計画（27 年度～29 年度）を 2 年目とし、基本理念に基づく 3 年後のビジョンである「利用者の質の高いサービス提供と障がい児・者の地域生活ニーズの充足」を実現するために、法人としての課題でもある職員研修や人材育成等に力点を置き、組織の活性化及び業務の改善・効率化に努めていきます。

また、具体的な経営・事業課題等には B S C（バランススコアカード）の活用による活動計画の作成と P D C A サイクルの実施に取り組み、各施設・事業所との連携強化と法人本部事務局体制の強化を以下の経営方針に沿って進めてまいります。

〈経営方針〉

1. 人材育成の推進

- ① グループスーパービジョン体制の構築と計画による実施
- ② O J T 体制及び計画による実施
- ③ 各種研修会及び事業所間の交換研修の実施

2. 利用者ニーズの把握とサービス内容の充実

- ① アンケート、ヒヤリング等の実施
- ② サービス内容の整理、見直し
- ③ 新たに必要なサービスと取り組み等

3. サービス提供プロセスの充実

- ① 効果的な事業計画の策定
- ② B S C 活動計画の策定と実践
- ③ P D C A サイクルの実施

〈基本理念〉

1. 人権尊重とサービス提供
2. 自立と共生
3. 利用者主体と地域福祉
4. 感謝と奉仕と努力向上
5. 健全経営

〈事業経営〉

1. 第 1 種社会福祉事業

- ① 障害者支援施設 宰府園の設置経営

2. 第 2 種社会福祉事業

- ① 障害福祉サービス事業の経営 (宰府園)
- ② 障害福祉サービス事業の経営 (障害者生活支援センターにじ)
- ③ 障害福祉サービス事業の経営 (寺内ホームアンダンテ)・春日ホーム
- ④ 相談支援事業の経営 (障害児等療育支援事業)
- ⑤ 相談支援事業の経営 (やまもも・すみれ園相談支援センター)
- ⑥ 障害福祉サービス事業の経営 (障害福祉サービス事業所やまもも)
- ⑦ 障害福祉サービス事業の経営 (障害者就労支援センターゆり工房)
- ⑧ 障害児通所支援事業の経営 (児童発達支援センターすみれ園)
- ⑨ 障害福祉サービス事業の経営 (グループホームやまもも)
- ⑩ 放課後等デイサービス事業の経営 (児童発達支援センターすみれ園)
- ⑪ 保育所等訪問支援事業の経営 (児童発達支援センターすみれ園)

3. 公益事業

- ① 就労支援事業 (さぼーと春日)

4. 受託事業

- ① 特別支援学校放課後等支援事業
- ② 那珂川町療育事業

II. 法人本部

法人経営方針に基づいて進めていきます。

1. 理事会、評議員会、監事監査、第三者委員会の適正な運営に努めます。
2. 経営会議、施設長会の運営に努めます。
3. 制度改正に伴う経営システムの整備に努めます。
 - ① 経営組織のガバナンスの強化
 - ② 事業運営の透明性
 - ③ 財務規律の強化
 - ④ 地域貢献事業の推進
4. コンプライアンス体制の推進に努めます。
5. 事業経営の強化に努めます。
 - ① 職員目標管理の推進
 - ② BSC（バランススコアカード）活動計画の実施
 - ③ PDCAサイクルの実施
 - ④ 中期経営計画の実施状況評価
 - ⑤ 事業計画および予算執行の推進管理
 - ⑥ 安全衛生委員会の推進活動等
6. 各種委員会・事業別部会の運営と法人の事業経営推進に努めます。
 - ① 広報委員会：法人の事業経営等の「見える化」・「見せる化」を行います。
法人広報誌（わかたけ）の発行、法人ホームページの更新、各施設・事業所ホームページの充実、パンフレット・ビデオの作成等の充実、法人の情報公開及び地域等とのコミュニケーション促進に努めます。
 - ② リスクマネジメント委員会：法人全体のリスクマネジメントの推進と統括の役割を担います。支援・介護事故、車両事故、災害、感染症等のリスク対策に努めます。
 - ③ サービス向上委員会：サービス提供プロセスの点検及び改善に努めます。
利用者ニーズの把握やサービス内容の見直しを行うとともにアンケート調査等を実施し、意見等の分析に基づくサービスの内容、提供のあり方などを検討して、サービスの質の向上を図ります。
 - ④ 権利擁護委員会：障害者差別解消法等の推進に取り組みます。
法人の倫理綱領、行動規範の定着を図り、職員の人権倫理意識向上、虐待防止、苦情解決等の対応を図ります。
 - ⑤ 研修委員会：人材育成の強化を図ります。
法人全体の研修計画における法人職員研修、役職者研修、中堅職員、新人職員研修の充実に努めます。また、職場研修（OJT）やスーパービジョン体制の構築を図り、職員の資質向上を強化に努めます。
 - ⑥ 生産・販売活動事業部会：法人内の生産活動や販売活動について、協力連携のあり方やその事業推進を図り、活性化に努めます。
 - ⑦ 地域生活支援事業部会：法人内の各種サービスの有機的連携を図り、障がい児・者の地域生活支援事業の相談事業、在宅サービス、就労生活支援などの事業推進に取り組みます。
7.
 - ① 児童発達支援センターすみれ園の建替え基本構想（案）に取り組みます。
 - ② 那珂川町療育事業にじいろキッズの受託運営の充実に努めます。
8. 法人本部事務局
 - ① 法人制度改正に伴う経営システムの整備を進めていきます。
 - ② 法人全体の事業経営及び各事業所の事業計画・予算の管理に努めます。
 - ③ 各種委員会・事業別部会の運営管理に努めます。
 - ④ 事務部連絡会議：法人本部事務局及び各施設・事業所の事務担当者で事務・会計処理等について検討・情報交換を行い、適正化を図ります。
9. 平成28年度法人経営等月別実施予定表

III. 各拠点の事業計画

施設名	障害者支援施設 幸府園	
事業種類	サービス種類	定員
居住支援	施設入所支援	45名
	短期入所	5名
日中活動支援	生活介護	60名
	就労継続支援B型	14名
	就労移行支援	6名
居宅介護	訪問介護・同行援護・ガイドヘルパー	-----
運営方針	① 多様なサービスの提供ができる総合施設としての機能の充実を図り、地域福祉の拠点の役割に努めます。 ② 利用者の生活のQOLの向上とエンパワメントを支援します。 ③ 支援体制の充実と職員の資質向上に努めます。	
重点目標	① 利用者のニーズの把握を行いサービスの質の向上に努めます。 ② OJTやスーパービジョンの充実に努め、職員の専門性を高めます。 ③ 支援マニュアル等を見直し、リスク管理を徹底します。 ④ 利用率等の向上を図ります。 ⑤ ボランティアの受け入れ促進を図ります。	

施設名	障害福祉サービス事業所 やまもも	
事業種類	サービス種類	定員
居住支援	グループホームやまもも	10名
	寺内ホームアンダンテ	6名
	グループホームやまもも 短期入所	2名
日中活動支援	生活介護	28名
	就労継続支援B型	10名
	日中一時支援	2名
相談支援	やまもも・すみれ園相談支援センター (特定相談・障害児相談)	-----
運営方針	① 利用者が喜んで利用したいと言える活動の充実に努めます。 ② 利用者が作業や生活面の出来ることを増やし、楽しい日常生活を送れるよう支援します。 ③ 職員の資質向上と支援の充実に努めます。	
重点目標	① 利用者ニーズに基づく活動内容の充実 ② スーパービジョン実施内容の充実とOJTの指導研修の向上 ③ 各業務マニュアルの充実と活用 ④ コスト意識の向上 ⑤ 地域行事への参加	

施設名	児童発達支援センター すみれ園	
事業種類	サービス種類	定員
障がい児通所支援	児童発達支援	30名
	保育所等訪問支援	-----
	放課後等デイサービス たんぽぽ	5名
	放課後等デイサービス みつばち	10名
受託事業	福岡県障害児等療育支援事業	-----
	特別支援学校放課後等支援事業	10名
	那珂川町療育事業 にじいろキッズ	-----
運営方針	① 各事業所職員間の報告・連絡・相談を高め地域福祉に努めていきます。 ② センター内保護者支援にとどまらず、地域の中核的役割を果たす児童施設として学習会や語ろう会の定例化を図り地域貢献に努めます。 ③ 各事業所の児童発達支援管理責任者業務の徹底と指導・研修を確実に実施します。	
重点目標	① 利用児の状況・家族状況等を密に連絡しあいながら、チーム力を生かしより良い療育支援の向上に努めます。 ② 地域の親同士が知り合い、苦悩を語り共有共感しながら、元気に子育てができるように学習会や語ろう会をそれぞれの視点に沿って実施する。 ③ 児童発達支援管理責任者の役割を常に見直し、スーパービジョンの充実に努めます。 ④ 各事業所全職員の質を図る為、テーマ研修に取り組みます。 ⑤ 各職員の目指す目標を鑑みながらメンタルケアにも努めていきます。	

施設名	障害者就労支援センター ゆり工房	
事業種類	サービス種類	定員
居住支援	寺内ホームアンダンテ 春日ホーム	4名
日中活動支援	生活介護	6名
	就労継続支援B型	23名
	就労移行支援	6名
	日中一時支援	3名
公益事業	就労支援事業（さぼーと春日）	-----
運営方針	① 人権擁護と虐待防止の意識を高め、利用者のニーズを汲み取った質の高いサービスの提供に努めます。 ② 地域に信頼される施設として、共生社会の実現と社会貢献に向けた取組を積極的に遂行します。 ③ 職員一人ひとりの高い倫理観と支援技術の向上に取り組みます。 ④ 各種事業との連携と経営の安定化に取り組みます。	
重点目標	① 利用者一人ひとりのニーズや要望を把握し、満足できるサービスの提供に努めます。 ② 就労支援機能の強化に努めます。 ③ 地域福祉の拠点施設としての機能の推進と社会貢献に努めます。 ④ 職員の専門性を高めるため日常業務を通じたOJTなどによる支援スキルの向上と併せてメンタルヘルスの面にも取り組みます。 ⑤ 経営的な視点に立った利用率向上とコスト意識を持って事業経営に取り組みます。	

施設名	障害者生活支援センターにじ	
事業種類	サービス種類	定員
日中活動支援	生活介護	14名
	自立訓練	6名
運営方針	① 人権擁護と虐待防止の為、職員一人ひとりの人権意識を高めます。 ② 利用者、ご家族のニーズの充足の為、質の高いサービス提供に努めます。 ③ 利用者のQOLの向上の為、他事業所等との連携を深めます。	
重点目標	① 個別支援計画書に基づく適切な支援を実施します。 ② 業務全般の基本マニュアルの見直しを行い、業務の標準化を図ります。 ③ 職員それぞれが課題と目標を明確にし、支援スキルの向上に努めます。 ④ 利用率の向上とコスト削減に努めます。 ⑤ 福祉の人材育成に努めます。	